

大雨(洪水)防災教育プログラムの基本構成

1. プログラムの概要

豪雨時の災害(洪水)や気象情報、避難情報を理解し、ハザードマップを基に、地域の洪水リスクから自分の命を守る判断と具体的な避難行動を考える防災教育用のプログラムである。プログラムの特長として、GIGA スクール構想で整備された情報端末(タブレット型コンピュータ等)を活用し、地理的な学習と防災教育をリンクさせた ICT 教材「YOU@RISK_洪水版」を用いた学習を可能にする。

2. 対象学年

小学校 4 年生以上

3. 単元構成

構成	学習内容	学習目標	使用教材
STEP1 事前学習	【学習 1】 大雨によって起こる災害を知る	・大雨による災害(洪水)を理解する ・大雨による災害(洪水)の具体的なイメージを持つ	・副読本※1 ・その他教材
	【学習 2】 大きな川の特徴と洪水への備えを知る	・大きな川の特徴を理解する ・大きな川の洪水対策とその限界を知る	・副読本※1 ・その他教材
	【学習 3】 大雨の危険についての情報の集め方を知る	・大雨に備えるための防災気象情報や避難情報を知る ・情報に基づく避難行動の判断を考える	・副読本※1 ・その他教材
STEP 2 アクティブ・ラーニング学習	【学習 4・5】 ICT 学習 洪水から身を守る行動を学ぶ(1) 洪水から身を守る行動を学ぶ(2)	・ハザードマップ(洪水)を正しく読み取る ・その場所の危険に応じた避難行動を判断する	・ハザードマップ※2 ・YOU@RISK_洪水版※3
STEP 3 アクティブ・ラーニング学習	【学習 6・7】 ICT 学習 状況に応じた避難のし方を考える(1) 状況に応じた避難のし方を考える(2)	・状況に応じた避難行動を考える(個人) ・大雨時の安全な避難行動についてグループで話し合う ・学習したことを大人に伝える ・地域の大人と交流して理解を深める	・ハザードマップ※3 ・YOU@RISK_洪水版※3

※1 : 学習 1～3 では、都道府県や市町村教育委員会が作成した副読本等を用いて学習する。

※2 : ハザードマップは、県や市町村が発行している最新版を用いる。

※3 : YOU@RISK_洪水版は、国立研究開発法人防災科学技術研究所が開発した ICT 教材。

<https://www.bosai.go.jp/katei/products/youatrisk.html>